

2021年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月6日

上場会社名 マークラインズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3901 URL https://www.marklines.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 誠
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長 (氏名) 坂井 建一 (TEL) 03-4241-3901
 四半期報告書提出予定日 2021年5月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け)
 (百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	979	37.0	327	29.0	332	29.9	218	92.5
2020年12月期第1四半期	715	15.6	254	12.2	255	11.8	113	△29.2

(注) 包括利益 2021年12月期第1四半期 269百万円(108.0%) 2020年12月期第1四半期 129百万円(△21.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	16.53	16.49
2020年12月期第1四半期	8.60	8.57

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	4,143	2,938	70.3
2020年12月期	4,024	2,920	72.6

(参考) 自己資本 2021年12月期第1四半期 2,914百万円 2020年12月期 2,920百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	ー	0.00	ー	21.00	21.00
2021年12月期	ー				
2021年12月期(予想)		0.00	ー	21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,500	14.6	540	20.4	520	15.8	360	29.8	27.30
通期	3,100	16.4	1,100	14.5	1,050	9.7	730	15.8	55.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 自動車産業支援ファン
 新規 1社(社名) ド2021投資事業有限責、除外 1社(社名) ー
 任組合
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年12月期1Q	13,191,200株	2020年12月期	13,189,200株
② 期末自己株式数	2021年12月期1Q	297株	2020年12月期	297株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年12月期1Q	13,190,769株	2020年12月期1Q	13,180,254株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P4「(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、T D n e t 及び当社WEBサイト(<https://www.marklines.com/ja/ir/>)に掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行は、未だ収束の出口に至らず、世界経済への影響等については引き続き注視が必要な状況が続きました。そのような中、当社グループは当第1四半期連結累計期間（2021年1月1日から2021年3月31日まで）において成長戦略に挙げたテーマに取り組んで参りました。

「情報プラットフォーム」事業については、1月から始まった2度目の緊急事態宣言が3月半ばまで続きましたが、変化する環境へ柔軟な対応を進めて参りました。1月にはオートモーティブワールドに出展し、1年ぶりに行われた展示会で多くの来場者の方々に直接プレゼンを行いました。また昨年から取り組んでいるオンラインによる1対n(多数)の営業を、日本だけではなく各拠点(中国、タイ)でも実施し、効率的な営業活動をグローバルでも進めました。コンテンツにおいては、急速に高まるEV化への波を受けて、2月には完成車メーカー拠点情報に中国の新興EVメーカーを追加し、EVメーカーの動向を把握しやすくしました。3月には、市場・技術レポートに“半導体不足による自動車産業への影響”と題してレポートを掲載、自動車産業界のニーズに迅速に順応して参りました。自動車産業の急速な電動化の流れにより全般的に当社への注目が集まった結果、契約社数は前連結会計年度末から183社増加(前年同期80社増加)の3,820社となりました。

ベンチマーキング関連事業については、車両・部品調達代行サービスにおいて、車両本体や電動化関連部品の受注などにより、前年同期を大きく上回る結果となりました。また分解データ販売においては、Tesla Model 3のCADデータ販売が売上に貢献したことや、Tesla Model Yの分解調査レポートの販売が3月に入り急速に伸び、売上が大きく牽引しました。LMC Automotive Ltd. 製品(市場予測情報)販売事業は、契約を更新する企業が一定数ある中で、契約されている顧客内での他部署の追加利用などもあり、前年同期比1桁増の結果となりました。コンサルティング事業については、3月後半から電動化の流れが一気に加速したこと、またコロナの影響により昨年延期されていたプロジェクトの再開などにより、前年同期を大きく上回る結果となりました。プロモーション広告事業(LINES)については、コロナ禍でWEBマーケティングに注目が集まりました。また顧客への手厚いサポートの効果が徐々に表れ、リピーターが増加し売上が伸張しました。人材紹介事業については、大手自動車メーカーからの電動化やコネクテッド関連人材の引合いが多く、前年同期2桁の伸びとなりました。自動車ファンド事業においては、1月に「自動車産業支援ファンド2021投資事業有限責任組合」を立ち上げ、第1回目の募集が完了しました。募集は年内継続して進めて参ります。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は売上高979百万円(前年同期比37.0%増加)、営業利益は、327百万円(前年同期比29.0%増加)、経常利益は、332百万円(前年同期比29.9%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、保有有価証券の株価下落による有価証券評価損30百万円を特別損失に計上したことにより、218百万円(前年同期比92.5%増加)となりました。

各セグメント毎の経営成績は以下の通りであります。

なお、当社の連結子会社である株式会社自動車ファンドが事業活動を開始したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より「自動車ファンド事業」を報告セグメントとして新たに追加しました。

また、前第4四半期連結会計期間より、量的な重要性が高まったため「その他の事業」に含めていたプロモーション広告事業を独立区分し、報告セグメントとしております。

○「情報プラットフォーム」事業：売上高514百万円(前年同期比10.7%増加)、セグメント利益(営業利益)280百万円(前年同期比10.2%増加)

当第1四半期連結累計期間における「情報プラットフォーム」契約社数は、前連結会計年度末から183社増加の3,820社となりました。当第1四半期後半から急速に加速した脱カーボンの流れにより、当社サービスへの注目が集まったこと、また営業部門の組織体制の強化と相まって、3月の契約社数は過去最高となりました。

○「情報プラットフォーム」事業地域別売上高

地域	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日) (百万円)	増減率(%)
日本	249	267	+7.3
中国	55	72	+29.4
アジア	68	72	+6.6
北米	43	48	+13.2
欧州	45	50	+11.9
その他	2	2	△18.8
合計	465	514	+10.7

○ベンチマーキング関連事業：売上高240百万円(前年同期比148.8%増加)、セグメント利益(営業利益)60百万円(前年同期比105.9%増加)

当第1四半期連結累計期間のベンチマーキング関連事業は、部品調達代行事業において、大手自動車メーカーからの車両本体受注があったことや、自動車産業の川上産業のメーカーからも電動化部品の受注があったことなどにより売上が大きく伸張しました。分解調査データ販売においては、Tesla Model 3の車両全体のCADデータ販売があったこと、また電動車用駆動モーター・インバーターの分解調査レポート販売が好調であったことから売上高の伸張に大きく寄与しました。

○LMC Automotive Ltd. 製品(市場予測情報)販売事業：売上高32百万円(前年同期比6.8%増加)、セグメント利益(営業利益)8百万円(前年同期比10.0%増加)

当第1四半期連結累計期間のLMC Automotive Ltd. 製品(市場予測情報)販売事業は、昨年契約した企業の更新が順調に進んだこと、また顧客内の他部門での活用など、1社複数契約もあり、前年同期を上回る結果となりました。

○コンサルティング事業：売上高135百万円(前年同期比58.4%増加)、セグメント利益(営業利益)41百万円(前年同期比46.7%増加)

当第1四半期連結累計期間のコンサルティング事業は、コロナの影響で凍結されていたプロジェクトが年初から動き出したことに加え、3月末決算企業による案件の検収が増え、売上高、営業利益ともに前年同期を大きく上回る結果となりました。

○プロモーション広告事業：売上高14百万円(前年同期比386.7%増加)、セグメント利益(営業利益)10百万円(前年同期比1,795.5%増加)

当第1四半期連結累計期間のプロモーション広告事業は、デジタルによるマーケティングに注目が集まっている中で、きめ細かい顧客へのサポートの効果が徐々に表れた結果、リピーターによる受注が増加しました。またPRメールにおいては送付通数制限をなくした効果により商品力が強化され、前年同期を大きく上回る結果となりました。

○人材紹介事業：売上高41百万円(前年同期比22.3%増加)、セグメント利益(営業利益)19百万円(前年同期比52.0%増加)

当第1四半期連結累計期間の人材紹介事業は、大手自動車メーカーへの紹介案件が増えたため、成約件数は21件(前年同期13件)となりました。またエグゼクティブクラスの成約もあり、売上高は前年同期比22.3%増加、セグメント利益(営業利益)52.0%の増加となりました。

○自動車ファンド事業：売上高一百万円、セグメント損失（営業損失）△11百万円

当第1四半期連結累計期間において、国内外の自動車産業における成長企業を資金面から支援するために、子会社である株式会社自動車ファンドを通じて「自動車産業支援ファンド2021投資事業有限責任組合」を1月に設立しました。当社が200百万円、株式会社自動車ファンドが50百万円、SBIグループが25百万円を出資し事業をスタートさせ、資金の募集を継続して実施しております。

○ セグメント別損益

		前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日) (百万円)	増減率(%)
「情報プラットフォーム」事業	売上高	465	514	+10.7
	営業利益	254	280	+10.2
ベンチマーキング関連事業	売上高	96	240	+148.8
	営業利益	29	60	+105.9
LMC Automotive Ltd. 製品（市場予測情報）販売事業	売上高	30	32	+6.8
	営業利益	7	8	+10.0
コンサルティング事業	売上高	85	135	+58.4
	営業利益	27	41	+46.7
プロモーション広告事業	売上高	2	14	+386.7
	営業利益	0	10	+1,795.5
人材紹介事業	売上高	34	41	+22.3
	営業利益	12	19	+52.0
自動車ファンド事業	売上高	—	—	—
	営業損失	—	△11	—

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月12日に公表しました2021年12月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,301,979	3,191,817
売掛金	131,811	364,201
商品	9,956	4,905
仕掛品	—	2,300
前払費用	22,998	26,071
その他	45,854	24,506
貸倒引当金	△1,450	△3,755
流動資産合計	3,511,150	3,610,046
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	54,938	55,176
減価償却累計額	△12,353	△13,153
建物及び構築物（純額）	42,585	42,023
土地	5,634	5,634
その他	39,173	42,921
減価償却累計額	△27,632	△29,433
その他（純額）	11,540	13,487
有形固定資産合計	59,760	61,145
無形固定資産		
ソフトウェア	64,447	56,469
無形固定資産合計	64,447	56,469
投資その他の資産		
投資有価証券	194,307	224,447
長期預金	47,430	50,370
敷金	99,239	99,002
繰延税金資産	45,153	39,169
その他	4,451	4,487
貸倒引当金	△1,067	△1,430
投資その他の資産合計	389,513	416,046
固定資産合計	513,721	533,662
資産合計	4,024,872	4,143,708

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	42,707	128,241
未払金	8,230	11,622
未払費用	43,812	30,423
未払法人税等	169,853	104,232
未払消費税等	38,446	44,977
前受金	764,267	815,902
預り金	19,764	14,735
賞与引当金	12,671	46,270
その他	—	2,407
流動負債合計	1,099,752	1,198,813
固定負債		
退職給付に係る負債	4,435	6,540
固定負債合計	4,435	6,540
負債合計	1,104,187	1,205,354
純資産の部		
株主資本		
資本金	368,751	368,951
資本剰余金	286,558	286,758
利益剰余金	2,306,972	2,248,089
自己株式	△344	△344
株主資本合計	2,961,938	2,903,455
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△38,003	4,136
為替換算調整勘定	△3,250	7,102
その他の包括利益累計額合計	△41,254	11,239
非支配株主持分	—	23,660
純資産合計	2,920,684	2,938,354
負債純資産合計	4,024,872	4,143,708

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
売上高	715,023	979,444
売上原価	257,077	415,881
売上総利益	457,945	563,562
販売費及び一般管理費		
販売促進費	5,628	5,695
販売手数料	301	346
広告宣伝費	2,327	2,768
役員報酬	14,266	14,339
給料及び手当	76,664	87,028
賞与引当金繰入額	15,333	19,558
退職給付費用	2,234	2,225
法定福利費	13,894	17,094
減価償却費	4,848	3,166
貸倒引当金繰入額	2,067	2,667
賃借料	10,745	16,641
その他	55,613	64,451
販売費及び一般管理費合計	203,927	235,984
営業利益	254,018	327,578
営業外収益		
受取利息	457	873
受取配当金	2,234	1,223
為替差益	—	2,286
その他	1,141	417
営業外収益合計	3,833	4,800
営業外費用		
為替差損	1,943	—
その他	0	—
営業外費用合計	1,943	—
経常利益	255,907	332,378
特別損失		
投資有価証券評価損	105,896	30,598
特別損失合計	105,896	30,598
税金等調整前四半期純利益	150,011	301,779
法人税、住民税及び事業税	73,838	97,650
法人税等調整額	△37,120	△12,614
法人税等合計	36,717	85,036
四半期純利益	113,294	216,743
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△1,339
親会社株主に帰属する四半期純利益	113,294	218,083

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年3月31日)
四半期純利益	113,294	216,743
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,471	42,140
為替換算調整勘定	△5,321	10,353
その他の包括利益合計	16,150	52,493
四半期包括利益	129,444	269,237
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	129,444	270,577
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△1,339

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月26日 定時株主総会	普通株式	237,048	18.00	2019年12月31日	2020年3月27日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年3月26日 定時株主総会	普通株式	276,966	21.00	2020年12月31日	2021年3月29日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント								調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	「情報プ ラットフ ォーム」 事業	ベンチマ ーキング 関連事業	LMC Automotive Ltd. 製品 (市場予 測情報) 販売事業	コンサル ティング 事業	プロモー ション広 告事業	人材紹介 事業	自動車フ ァンド事 業	計		
売上高										
外部顧客への 売上高	465,225	96,847	30,528	85,294	2,892	34,235	—	715,023	—	715,023
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	465,225	96,847	30,528	85,294	2,892	34,235	—	715,023	—	715,023
セグメント利益	254,755	29,336	7,380	27,977	556	12,815	—	332,821	△78,803	254,018

(注) 1. セグメント利益の調整額△78,803千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント								調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	「情報プ ラットフ ォーム」 事業	ベンチマ ーキング 関連事業	LMC Automotive Ltd. 製品 (市場予 測情報) 販売事業	コンサル ティング 事業	プロモー ション広 告事業	人材紹介 事業	自動車フ ァンド事 業	計		
売上高										
外部顧客への 売上高	514,895	240,911	32,589	135,112	14,077	41,857	—	979,444	—	979,444
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	514,895	240,911	32,589	135,112	14,077	41,857	—	979,444	—	979,444
セグメント利益 又はセグメント 損失(△)	280,726	60,411	8,120	41,036	10,549	19,474	△11,033	409,285	△81,706	327,578

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額△81,706千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、当社の連結子会社である株式会社自動車ファンドが事業活動を開始しております。これに伴い、新たに報告セグメントとして「自動車ファンド事業」を追加し、従来「調整額」に含めていた同社を「自動車ファンド事業」に移管しております。

また、前第4四半期連結会計期間より、量的な重要性が高まったため「その他の事業」に含めていたプロモーション広告事業を独立区分し、報告セグメントとしております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。

マークライnz株式会社 四半期決算補足説明資料

2021年 第1 四半期

2021年5月6日

Copyright © 2021 MarkLines Co., Ltd. All Rights Reserved

はじめに

当第1 四半期において当社子会社である株式会社自動車ファンドが「自動車産業支援ファンド2021投資事業有限責任組合」を組成したことにより、同社が本格的に投資活動を開始しました。

これに伴い、当社は「自動車ファンド事業」を新たな事業セグメントとして設定しました。当該事業は、当社グループが前期まで運営してきた既存事業とは性質が異なるため、前第1 四半期と当第1 四半期における連結業績の比較について補足説明いたします。

なお、当第1 四半期においては当組合を当社の連結子会社として取り扱い、連結の範囲に含めております。

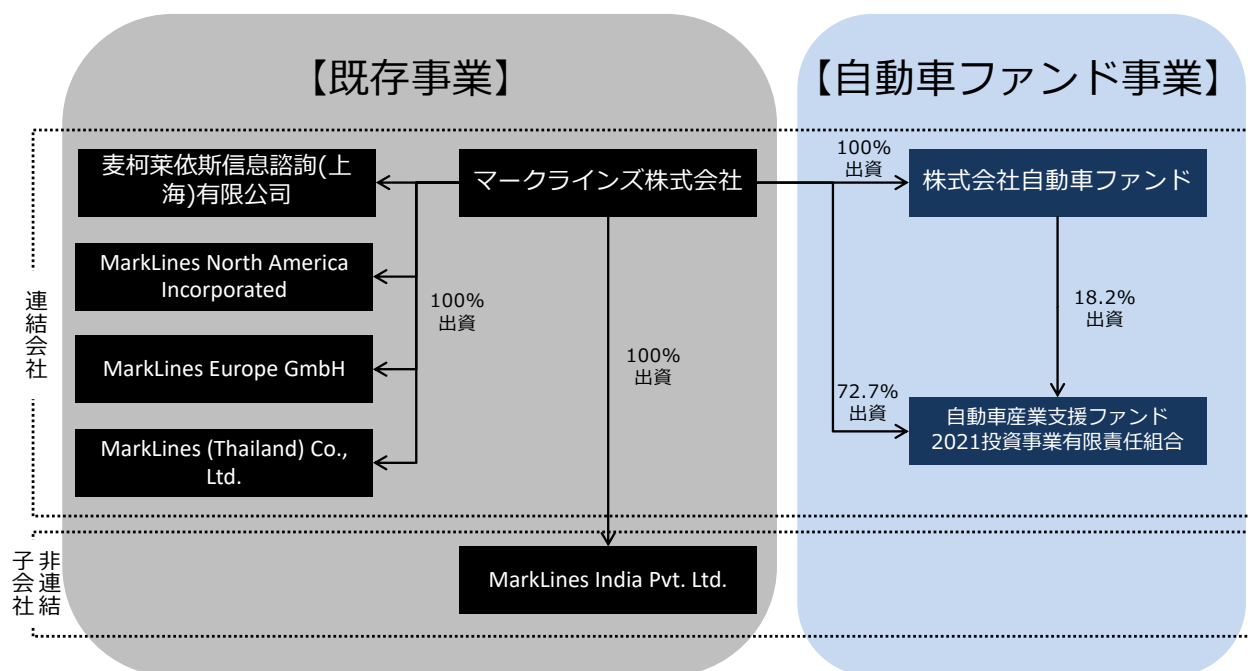
- I. 連結範囲について**
- II. 連結業績サマリー**
- III. 当期における「自動車産業支援ファンド2021」の連結上の取扱いについて**

I. 連結範囲について

連結の範囲について

マークラインズグループの連結範囲

2021年3月31日現在



※既存事業：
情報プラットフォーム、ベンチマーキング関連、コンサルティング、
市場予測情報販売、人材紹介、プロモーション広告

変化の先頭に
MARKLINES Copyright © 2021 MarkLines Co., Ltd. All Rights Reserved
www.marklines.com

5

II. 連結業績サマリー

変化の先頭に
MARKLINES Copyright © 2021 MarkLines Co., Ltd. All Rights Reserved
www.marklines.com

6

連結業績サマリー

1. 既存事業（前期ベース）の連結業績

(単位：百万円)

	FY2020Q1	FY2021Q1	増減	
連結売上高	715	979	+264	+37.0%
連結営業利益	254	338	+84	+33.3%
連結経常利益	255	343	+87	+34.2%
当期純利益	113	228	+115	+102.1%
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	113	228	+115	+102.3%

連結業績サマリー

2. 既存事業（前期ベース）のセグメント別損益

(単位：百万円)

事業部		FY2020 Q1	FY2021 Q1	前期比	
情報プラットフォーム事業	売上高	465	514	+49	+10.7%
	セグメント利益	254	280	+25	+10.2%
ベンチマーキング関連事業	売上高	96	240	+144	+148.8%
	セグメント利益	29	60	+31	+105.9%
市場予測情報販売事業	売上高	30	32	+2	+6.8%
	セグメント利益	7	8	+0	+10.0%
コンサルティング事業	売上高	85	135	+49	+58.4%
	セグメント利益	27	41	+13	+46.7%
プロモーション広告事業	売上高	2	14	+11	+386.7%
	セグメント利益	0	10	+9	+1795.5%
人材紹介事業	売上高	34	41	+7	+22.3%
	セグメント利益	12	19	+6	+52.0%
調整	売上高	-	-	-	-
	セグメント利益	△78	△81	△2	+3.7%
既存事業連結売上高		715	979	+264	+37.0%
既存事業連結営業利益		254	338	+84	+33.3%

連結業績サマリー

3. 自動車ファンド事業（新規）の連結業績

(単位：百万円)

	FY2020Q1	FY2021Q1	増減	
連結売上高	-	-	-	-
連結営業利益	-	△11	△11	-
連結経常利益	-	△11	△11	-
当期純利益	-	△12	△12	-
非支配株主に帰属する当期純利益	-	△1	△1	-
親会社株主に帰属する当期純利益	-	△10	△10	-

連結業績サマリー

4. 連結業績（既存事業及び自動車ファンド事業の合算値）

(単位：百万円)

	FY2020Q1	FY2021Q1	増減	
連結売上高	715	979	+264	+37.0%
連結営業利益	254	327	+73	+29.0%
連結経常利益	255	332	+76	+29.9%
当期純利益	113	216	+103	+91.3%
非支配株主に帰属する当期純利益	-	△1	△1	-
親会社株主に帰属する当期純利益	113	218	+104	+92.5%

Ⅲ. 当期における「自動車産業支援ファンド2021」の連結上の取扱いについて

当期における「自動車産業支援ファンド2021」の連結上の取扱いについて

1. 当該ファンドについて

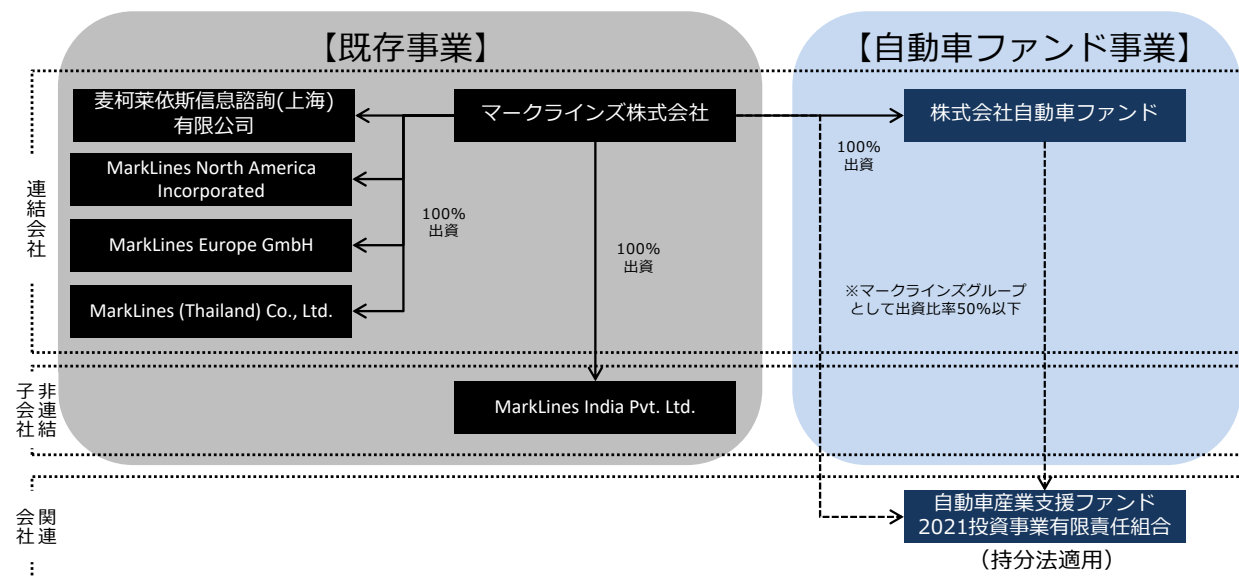
- ① 当該ファンドでは、2021年12月末まで資金募集を行う予定です。
- ② 募集活動の状況により[※]LP出資者からの出資額が増加し当社の出資比率が50%以下まで減少した場合、当該ファンドは当社の連結子会社から除かれ持分法適用の関連会社となります。

※ LP出資者：組合運営に全責任を無限に負うGP（無限責任組合員=自動車ファンド、SBIキャピタル）に対して、資金出資者であり、その責任が出資した金額のみに制限される組合員（有限責任組合員）のこと。

当期における「自動車産業支援ファンド2021」の連結上の取扱いについて

2. 「自動車産業支援ファンド2021」を持分法適用の関連会社として取り扱った場合

① 当組合に対する出資比率が50%以下となった場合の連結の範囲



変化の先頭に
MARKLINES Copyright © 2021 MarkLines Co., Ltd. All Rights Reserved
www.marklines.com

13

当期における「自動車産業支援ファンド2021」の連結上の取扱いについて

(ご参考)

② 当組合を連結した場合と持分法で処理した場合の連結業績比較

(単位：百万円)

	FY2021Q1 (連結) ①	FY2021Q1 (持分法) ②	増減 ①-②
連結売上高	979	991	△11
連結営業利益	327	342	△14
連結経常利益	332	333	△1
当期純利益	216	218	△1
非支配株主に帰属する当期純利益	△1	-	△1
親会社株主に帰属する当期純利益	218	218	-

変化の先頭に
MARKLINES Copyright © 2021 MarkLines Co., Ltd. All Rights Reserved
www.marklines.com

14